

1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第10回選定）のうち北陸農政局管内の地区

「ディスカバー農山漁村の宝」（第10回選定）選定地区一覧

北 陸

【農山漁村発イノベーション、伝統の継承、農福連携】 **優秀賞**

No.09 富山県 富山市
社会福祉法人フォーレスト八尾会

【地域活性化、企業との連携、水産業】

No.10 富山県 富山市
YY-Project
(四方を良くするプロジェクト)

【農業のスマート化、6次産業化】 **特別賞**

No.11 富山県 南砺市
トレボー株式会社

【伝統の継承、6次産業化、女性・高齢者の活躍】 **特別賞**

No.12 福井県 若狭町
合同会社山内かぶらちゃんの会

北海道

【林業、伝統の継承、関係人口の創出】

No.01 北海道 置戸町
一般社団法人おけと森林文化振興協会

【農業、食育・教育、学生・若者の活躍】 **優秀賞**

No.02 北海道 中標津町 **特別賞**
北海道中標津農業高等学校
マネージメント研究班

東 北

【産地振興対策、農福連携、農村RMO】

No.03 岩手県 花巻市
高校第三行政区ふるさと地域協議会

【農福連携、6次産業化、雇用】

No.04 宮城県 石巻市
一般社団法人イシノマキ・ファーム

【農田保全、関係人口の創出、環境保全（農林水産業・食品産業）】

No.05 福島県 喜多方市
本木・早稲谷 郷と里山を守る会

第10回記念賞

【産地、農村文化体験、関係人口の創出】

秋田県 仙北市
仙北市農山村体験観光協議会
(第3回選定)

東 海

【6次産業化、地産地消、関係人口の創出】 **優秀賞**

No.13 愛知県 常滑市
株式会社ディーリーファーム

【学生・若者の活躍、関係人口の創出、農泊】 **特別賞**

No.14 三重県 伊賀市
株式会社七転八倒

関 東

【農業、農村文化体験、教育機関との連携】

No.06 茨城県 石岡市
特定非営利活動法人アグリヤさと

【産地、関係人口の創出】

No.07 茨城県 かすみがうら市
株式会社
がずみがうら未来づくりカンパニー

【関係人口の創出、農村文化体験、食育・教育】

No.08 長野県 伊那市
LURAの会

九州・沖縄

【地産地消、伝統の継承】

No.27 福岡県 筑前町
株式会社
筑前町ファーマーズマーケットマダカの里

【6次産業化、地産地消、女性の活躍】 **特別賞**

No.28 沖縄県 石垣市
農業生産法人有限会社伊盛牧場

【農福連携】

No.29 沖縄県 宮古島市
社会福祉法人みやご福祉会

近 畿

【農福連携、6次産業化、樹園保全】 **特別賞**

No.15 滋賀県 長浜市
認定特定非営利活動法人つとひ

【農業、食育・教育、農村環境・樹園保全】

No.16 滋賀県 長浜市
ONE SLASH/RICE IS COMEDY ⑧

【林業、環境保全（農林水産業・食品産業）】

No.17 和歌山県 田辺市
株式会社中川

中 国

【水産業、地産地消、企業との連携】 **グランプリ**

No.18 島根県 大田市
大田商工会議所

【6次産業化、農業、女性の活躍】 **優秀賞**

No.19 島根県 大田市
笠木 真衣

【水産業、環境保全（農林水産業・食品産業）、教育機関との連携】

No.20 岡山県 玉野市
富永 邦彦

【農福連携、6次産業化、雇用】

No.21 広島県 三原市
株式会社八天堂ファーム（八天堂がどう園）

【6次産業化、地産地消、企業との連携】

No.22 広島県 三原市
広島みはらプロジェクト実行委員会

【シビエ、鳥獣被害防止、女性の活躍】 **特別賞**

No.23 広島県 神石高原町
株式会社BINGO

四 国

【6次産業化、食育・教育、環境保全（農林水産業・食品産業）】 **特別賞**

No.24 愛媛県 伊方町
朝日共栄株式会社

【林業、環境保全（農林水産業・食品産業）】 **優秀賞**

No.25 高知県 大月町 **特別賞**
大月町備前炭生産組合

【多様な分野との連携、産地、関係人口の創出】 **特別賞**

No.26 高知県 黒潮町
特定非営利活動法人NPO財団法人緑館

上記選定地区については、ホームページ「ディスカバー農山漁村の宝 AWARD～第10回選定～」をご覧ください。



計：29地区
(第10回記念賞含み30地区)

全国選定

団体(ビジネス・イノベーション部門)
【優秀賞】

とやまし
富山県 富山市

しゃかいふくしほうじん

やつおかい

社会福祉法人フォーレスト八尾会 ～「八尾の桑」でつながるやさしいまちづくり～

農山漁村発イノベーション

伝統の継承

農福連携

所在地 : 富山県富山市八尾町黒田53-3

連絡先 : forest@cty8.com

ホームページ : <https://forest-yatsuo.org/>



桑のリブランディング

ハウス栽培のリーフ・フラワー類と料理の一例

ツアーでの収穫体験と桑を使った料理



八尾の未来を育てる
利用者の皆さん

概要

- 町の原点である養蚕業に着目し、中山間地の耕作放棄地を活用して桑畑を再生。環境保全・鳥獣害対策にも寄与している。
- 桑のリブランディングに取り組み、桑茶商品や剪定枝のバイオプラスチック化、桑の農業体験と料理を楽しむ農泊ツアー、スポーツチームとの連携、学校での養蚕の講師を務めるなど多岐にわたる活動を行っている。
- 平成9年から農福連携に取り組み、無農薬で生産するハウス栽培のマイクロリーフ・エディブルフラワーはミシュラン店などで使用されており、売上や利用者の工賃向上につながった。

成果

- 桑のリブランディングにより、桑茶葉や桑菓子等の売上は、190万円(R3)から350万円(R4)に急増。マイクロリーフやエディブルフラワーなどの売上は、770万円(R4)とコロナ禍前の水準にほぼ戻った。
- 就労継続支援B型事業所の利用者の平均月額工賃は、14,000円(H30)から17,000円(R4)に増加。
- 令和3年からSDGsをテーマに、オーガニック・地産地消を推進するマーケットを開催するなど、地域活性化にも寄与。

とやまし
富山県 富山市

わいわいぶろじえくと

YY-Project (四方を良くするプロジェクト)

～四方で良かったと言われたい!!～

地域活性化

企業との連携

水産業

所在地：富山県富山市四方1622 (有)内田鉄工 内
連絡先：aac-yokata@outlook.jp
Instagram：YYP四方を良くするプロジェクト



富山市公認となったモニュメントの除幕式



黒くずし商品開発・試食の様子



様々なイベントを企画開催

概要

- コロナの影響で地域の祭りや学校の行事が中止になったが、町を巻き込んで面白いことをやろう！と熱意ある9名で活動を開始。サイクリング×ヨガ、花火大会、キャンプなど地域に活力と新しい魅力を創り出すイベントを企画・運営。
- 地域で伝統的に愛される黒づくり（イカの塩辛にイカ墨を混ぜた料理）と蒲鉾を組み合わせた「黒くずし」を地元企業と連携し、試食を重ね約3年間を費やして開発。SNSでの情報発信等が話題となり、販売開始前からメディアに取り上げられる。

成果

- SNSを活用したイベント情報発信により、幅広い年齢層や広域からの参加者を獲得。他地域から多数の問合せを受けるなど、地域活性化に広く貢献。
- 富山市の「AMAZING TOYAMAプロジェクト」の-spinオフとして、「AMAZING YOKATA」のモニュメントを作成して地域各所へ設置し、市公認の企画として町の魅力発信に貢献。

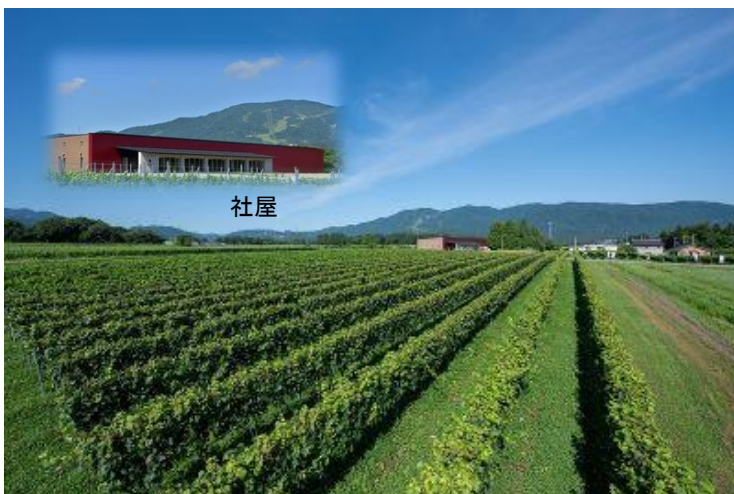
富山県 南砺市

トレボー株式会社
～情熱は伝播する～

スマート農業

6次産業化

所在地：富山県南砺市立野原西1197
連絡先：tresbeau-info@tresbeau.co.jp
ホームページ：https://tresbeau.co.jp/



社屋

魅力的な景観との調和を目指した設計



従業員・スタッフの皆さん 海外から導入した最新の醸造設備



栽培環境や生育状況を遠隔で管理
無人ローバーやドローンの活用にも挑戦

概要

- 日本酒とワインの専門店を営んでいた代表が、平成30年に70歳でワイナリーを創業。インターナショナルワインチャレンジや日本ワインコンクール等で受賞したほか、魅力的な景観との融合を目指した醸造工場は富山県景観広告大賞を受賞。
- ぶどう栽培は14haまで拡大し、農業を引退した高齢者を春から秋まで雇用。通年雇用を図りスキー場とも連携。地元IT企業の協力を得て、農業にITなどの技術で挑戦中。

成果

- 耕作放棄地を活用し、作付面積は3ha (H30) から14ha (R4) に拡大。生産本数は1.5万本 (R2) から4.8万本 (R4) に増加。
- ぶどう畑や醸造所を積極的に公開し、2年半での見学者は約2,000名、メディア取材は100件超。
- 近隣牧場の希少な短角牛に醸造後のぶどう糟を提供し、「なんと牛赤丸 福光そだち」としてブランド化。

全国選定

団体（ビジネス・イノベーション部門）
【特別賞：お宝食材リプロダクト賞】

わかさちよう
福井県 若狭町

ごとうがいしいや かい
合同会社かぶらちゃんの会
～山内かぶらから広がる地域活性化の輪～

伝統の継承

6次産業化

女性・高齢者の活躍

所在地：福井県三方上中郡若狭町山内 42-12
連絡先：kyokotobinaga_0804@yahoo.co.jp
Instagram：yamauchi.kabura（山内かぶらちゃんの会）



かぶらちゃんの会のメンバーと
地元小学校の収穫祭の様子



山内かぶらと加工品の数々

概要

- 100年以上前から栽培されてきた伝統野菜「山内かぶら」を復活させ、女性有志で生産組合を結成して継承。料理店に売り込んだところ、特有の味や煮崩れしにくい特徴が評価されて、県内のレストランや京都の料亭にも出荷。
- 大量生産は見込めないが、中山間地の山内集落でしか出せないこの味は地域の宝。甘酢漬け、マスタード、つぼ漬けなど企業や料亭と連携した加工品開発のほか、小学校の授業や栽培体験、飲食店が連携した食育プログラムにも協力。

成果

- 耕作面積は、40a (H30) から65a (R4) に増加し、集落の農地や耕作放棄地の有効活用に貢献。出荷量も480kg (H30) から550kg (R4) に増加。
- 集落内のレストラン開業により、販売金額は、約91万円 (R2) から約240万円 (R4) に急増。